

NHKは14日、東京・渋谷のNHKホールで、第100回放送記念日記念式典を開き、第76回（2024年度）日本放送協会放送文化賞の受賞式を実施した。NHKの稲葉雄雄会長、NHK経営委員会の古賀信行委員長、竹内芳明・総務事務次官、日本民間放送連盟（民放連）の堀木卓也専務理事が登壇し、祝辞を述べた。

## 第100回 放送記念日 記念式典



竹内総務事務次官

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

### NHK 稲葉会長 ネット必須業務化は歴史的転換点



稲葉会長

NHKは14日、東京・渋谷のNHKホールで、第100回放送記念日記念式典を開き、第76回（2024年度）日本放送協会放送文化賞の受賞式を実施した。NHKの稲葉雄雄会長、NHK経営委員会の古賀信行委員長、竹内芳明・総務事務次官、日本民間放送連盟（民放連）の堀木卓也専務理事が登壇し、祝辞を述べた。

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

### 民放連「多元性確保」はNHKの意思表明



古賀委員長

民放連は14日、東京・渋谷のNHKホールで、第100回放送記念日記念式典を開き、第76回（2024年度）日本放送協会放送文化賞の受賞式を実施した。民放連の古賀信行委員長、NHKの稲葉雄雄会長、竹内芳明・総務事務次官、日本民間放送連盟（民放連）の堀木卓也専務理事が登壇し、祝辞を述べた。

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

インターネット活用業務の必須業務化は、NHKの次の100年に向けた大きな一歩になるとし、NHKグループ全職員は公共

2025年3月22日

# 祝 放送100年

**ATP**  
一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

理事長  
**福浦 与一**

CREATORS CATALOGUE  
(English) (Japanese)

〒105-0014  
東京都港区芝 2丁目5番7号  
ハセガワビル 6F  
TEL 03-6205-7858  
FAX 03-6205-7859  
https://www.atp.or.jp/

**ZIPPY PRODUCTION**

代表取締役・チーフプロデューサー  
**渡邊 宏**

株式会社 ジッピープロダクション

〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿 1-19-15  
ウノサワ東急ビル 3F  
Phone:03-6821-7773  
Fax: 03-5792-7700  
http://www.zippy-pro.co.jp/

最新の機材を  
プロの現場へ

株式会社 **銀座サクラヤ**

代表取締役社長  
**浅沼 健司**

本社  
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-8-5  
Tel.03-3561-6151 Fax.03-3561-6152  
セールス & レンタル Div.  
〒111-0051 東京都台東区蔵前 3-12-2  
Tel.03-3863-5171 Fax.03-3863-5177

SINCE 1949  
**Ginza Sakuraya**  
TOTAL AV SOLUTION

**ITOCHU**

伊藤忠ケーブルシステム株式会社

代表取締役社長  
**中谷 晃治**

〒141-0022  
東京都品川区東五反田 3-20-14  
高輪パークタワー  
TEL : 03-6277-1821 (代表)  
FAX : 03-6277-1850  
https://www.itochu-cable.co.jp

**NHK ART**

代表取締役社長  
**平田 恭佐**

株式会社 **NHKアート**

〒151-0063  
東京都渋谷区富ヶ谷 1-14-7  
アートビル  
TEL (03)3481-2881  
FAX (03)3481-2905  
www.nhk-art.co.jp

**TOTSU**  
株式会社 東通インターナショナル

代表取締役社長  
**伊藤 章**

〒102-0073  
東京都千代田区九段北 2丁目3番6号  
電話 03-5586-0191  
https://totsu-inc.co.jp/

一般社団法人  
**全国地域映像団体協議会**

名誉会長 **信井 文夫**  
理事長 **遠藤 誠**  
副理事長 **岩月 雅章**  
事務局長 **姫野 敬幸**

<本部事務局>  
〒460-0006  
愛知県名古屋市中区葵1-27-29-402 (株) テレビシティ内  
TEL 052-933-5131  
FAX 052-933-5132  
URL http://www.zeneikyo.jp  
<東京連絡事務所>  
〒112-0006  
東京都文京区小日向1-24-8エイソールビル  
TEL 03-3942-2161  
FAX 03-3942-2581

代表取締役社長  
**星野 智彦**

**国際放映株式会社**

〒155-7100  
東京都世田谷区砧 3-17-1  
TEL 03-3474-9172  
FAX 03-3474-9171

**NABSHOW**  
Where Content Comes to Life  
Las Vegas  
April 5-9, 2025

https://www.nabshow.com/

株式会社 **NHKテクノロジー**

代表取締役社長  
**山口 太一**

〒150-0047  
東京都渋谷区神山町 4-14  
（第三共同ビル）  
TEL 03-3481-7823  
FAX 03-3481-7820

放送は今年で100年を迎えた。ラジオが始まった際、放送には文化・生活・教育・経済の各側面で大きな期待が寄せられた。そして戦後はテレビがメディアの王様になり栄光の時代を迎える。しかし20世紀末に登場したインターネットで雲行きが変わり、今やマスメディアは大ピンチに立たされている。それでも筆者は、IT技術を正しく活用すれば、放送で培ってきた力でピンチを絶好のチャンスに変えられると考える。問題は経営や現場がどれだけ正しく認識し実行に移せるかだ。次の100年に向けた可能性について考える。

(次世代メディア研究所 鈴木祐司)

# 放送100年 大ピンチの裏側に絶好の勝機

★社会の各諸相変える  
1925年3月22日、「JOKA」の第一声で日本の放送は幕を明けた。直後に社団法人東京放送局の後藤新平総裁は、「文化の機会均等」「家庭生活の革新」「教育の社会化」「経済機能の敏活」という放送の4機能を挙げた。大勢に瞬時に情報を届けるシステムは大きな影響力を持ち、確実に社会の各諸相を変えていった。

戦後、1953年にテレビが登場すると、放送はさらなる進化を遂げる。テキスト・音声・映像で誰にでもリアルタイムに届けられたテレビ放送は、短期間に全国津々浦々に届くようになり、75年には広告収入で新聞を抜く。テレビはメディアの王様となった。20世紀は「映像の世紀」と言われたのである。

中でも経済に与えた影響は特筆に値する。受信機や放送システム自体も消費や設備投資で大きなインパクトを持ったが、併せて電波に乗って大勢に届けられたCMは、大量生産大量消費の高度経済成長を支えた最大の要因だったと言えよう。か

た混信混乱を避け、情報目的だった。しかし放送を確実に届ける目的だった。「融合」という言葉を使うことすら嫌悪し、放送法に定められた「放送は」公衆によって直接受信されることを目的とする無線通信の送信」とある。つまり放送は通信の一部で、技術的には同一のもの。社会的な必要性から、制度として区別されたのである。

その後インターネットの登場で、今世紀初頭と通信と放送の融合論が持ち上がった。両者の機能を最大限生かすことが、た混信混乱を避け、情報目的だった。しかし放送を確実に届ける目的だった。「融合」という言葉を使うことすら嫌悪し、放送法に定められた「放送は」公衆によって直接受信されることを目的とする無線通信の送信」とある。つまり放送は通信の一部で、技術的には同一のもの。社会的な必要性から、制度として区別されたのである。

その後インターネットの登場で、今世紀初頭と通信と放送の融合論が持ち上がった。両者の機能を最大限生かすことが、

「JapanasN」これに合わせてメディアの勢力図も塗り替えられ始めた。この四半世紀でインターネット広告費が急伸する。今世紀初頭と通信と放送の融合論が持ち上がった。両者の機能を最大限生かすことが、

「IP網前提に合理的メディアへ」

インターネットの登場で、放送の優位が次第に崩れ始めた。今世紀に入るとブロードバンド化が進み、2010年代にはスマホとSNSが使われるようになり、雑誌・新聞・ラジオ・テレビの4大マスメディアは次第にネットに市場を奪われていく。

一握りのプロが制作した良くてきた情報を、大勢が編成に従って同時に享受する放送の利点も崩れ始めた。代わりに多くの人が発する多様な情報が、ネット上に溢れ始める。利用者は自分の都合にあわせて、興味のある情報を好きなだけ消費できるようになった。「オンデマンド」「ピンポイント」「自分事」が、情報流通のキーワードになった。

## ワンストップでリアルも見逃しも「合理性」追求すれば必ず活路

「放送100年特集」

「放送100年」は、放送の歴史を振り返るだけでなく、今後の展望についても触れている。放送は「1対多」の伝送システムの中、放送は最大公約数に向ける一方だ。しかし生活者は多様化し、それでは人々のニーズに追いつかない。放送利用者が減り続けた一因でもある。

IP網が前提なら、最大公約数向けのヘッドラインの番組を届けると同時に、多様なニーズに対応した詳細版をVODで享受できるような設計も可能だ。結果として利用者も戻ってくるだろう。

CMも同様だ。相手の属性に合わせて出し分けるアドレッシングは、VODにすれば、広告効果も単価も上げられる。つまりビジネスモデルを修正すれば、持続可能な事業に鍛え直すことが可能ということだ。「合理性」をキーワードに変遷してきた放送が、100年を経て新たな局面に向かうのなら、「合理性」を前提に対応すれば必ず活路は開ける。次の100年がどう花開くのか、業界関係者の判断に期待したい。

2025年3月22日 祝 放送100年

**MIHARU**

代表取締役社長  
**岩田 春樹**

〒247-0051 神奈川県鎌倉市岩瀬二二八五  
電話 (0467) 441911  
FAX (0467) 461125

**Blackmagicdesign**

**FOR.A**  
Find Your Next Innovation

株式会社 朋栄  
東京都渋谷区恵比寿 3-8-1  
TEL: 03-3446-3121  
www.for-a.co.jp

**NICCABI Rack System**

ニツキャビ株式会社

代表取締役 社長  
**寺林 英明**

〒211-0051 川崎市中区宮内2-5-8  
TEL (044) 766-2111  
FAX (044) 777-9000

インターネット・テクノロジー  
総合イベント

**Interop Tokyo**

**DSJ2025**  
デジタルサイネージ ジャパン

2025年6月11日(水)~13日(金)  
幕張メッセ

https://www.interop.jp/

【お問い合わせ先】  
(株) ナノソフト・メディア  
june-info@2f.jp

# Ikegami



# Ikegami meets MoIP

## 池上通信機がつくる IPソリューション

池上通信機は70年以上にわたり高性能、高品質を生み出してきました。  
放送の世界で培ってきたその技術力で、MoIPの新しい世界へ進化しようとしています。  
多様なニーズに応えるSDIとIPのハイブリッドシステム  
そして、その先の未来を見据えて  
池上通信機から次世代へ向けた放送の変革がはじまります。

池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16

[www.ikegami.co.jp](http://www.ikegami.co.jp)

お問い合わせは ●営業・マーケティング本部 放送第1営業部 TEL: 03-5748-2201 / 放送第2営業部 TEL: 03-5748-2261 ●大阪支店 TEL: 06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL: 052-705-6521  
●札幌営業所 TEL: 011-231-8218 ●仙台営業所 TEL: 022-292-2420 ●福岡営業所 TEL: 092-451-2521